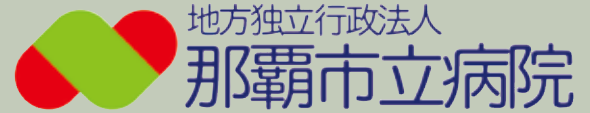


梯子きざはし

きざはし【階】〈梯〉はしご段。地域の皆様と健康生活へのかけはし。



地方独立行政法人
那覇市立病院

〒902-8511 沖縄県那覇市古島2丁目31番地1
TEL 098-884-5111 (代表)
TEL 098-887-1199 (急病センター)

<http://www.nch.naha.okinawa.jp/>



ゆいレール首里号(当院4階より)



地方独立行政法人
那覇市立病院

●●●● 理念「和と奉仕」 ●●●●

- 一、私たちは、市民の安心できる病院をめざします。
- 一、私たちは、微笑みと優しさを持って接するように努めます。
- 一、私たちは、診療内容をわかりやすく説明・開示するように努めます。
- 一、私たちは、いつも最新の質の高い医療をめざします。
- 一、私たちは、地域の医療機関と協力して開かれた病院をめざします。
- 一、私たちは、医療・福祉・保健の相互連携の発展に努めます。

●●●● 患者さんの権利 ●●●●

- ・だれでも人権が尊重され良質な医療を公平に受ける権利を持っています。
- ・病気、検査、治療などについて、理解しやすい言葉や方法で十分な説明を受ける権利があります。
- ・十分な説明を受けた上で、治療方法などを自分の意志で選択する権利があります。
- ・診療の過程で得られた個人情報を守られ、プライバシーは可能な限り尊重されます。
- ・自分の診療記録情報の開示を求めることができます。

●●●● 患者さんの責務 ●●●●

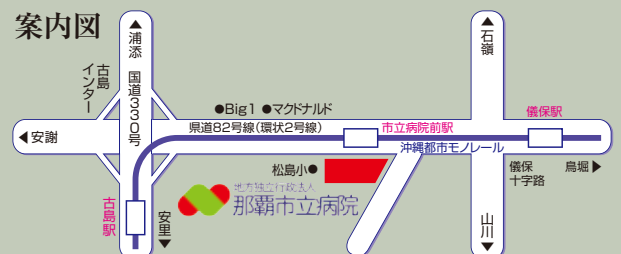
患者さんに守って頂きたいこと

- ・自分の健康に関する情報をできるだけ正確に医療従事者に伝えてください。
- ・説明を受けてもよく理解できなかったことについて、理解できるまで質問してください。
- ・すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さんの診療などに支障を与えないよう努めてください。
- ・病院の規則や指示は守ってください。
- ・診療などにかかる医療費を滞滞なくお支払いください。医療費に関して疑問や相談がありましたら、総合相談センター窓口へご連絡なくお申し出ください。

CONTENTS

気仙沼市立本吉病院への応援診療を終えて	2
被災地の医療支援活動報告会	5
研修センター開設	6
中学生職場体験	7
部署紹介/経営企画室 医療情報グループ	8
部署紹介/ME室	9
地域連携室/第3回地域医療連携交流会	10
地域がん診療連携拠点病院/第一回がんフォーラム	12
献立紹介/ふれあいポスト	13
消防訓練	14
登録医紹介	15

案内図



津波はテンデンコ

気仙沼市立本吉病院への応援診療を終えて 内科 科部長 喜屋武幸男

あの日、3月11日 信じられない映像を目の当たりにして、ただ絶句しました。あの大津波が、海岸を林をそして人間の構造物を舐めるように次々と飲み込んでいく、まるで映画のシーンのような空からの映像が、テレビの実況でながれていました。あれからすでに6か月も経ちますがあの悲惨な光景はまだ脳裏に焼付いたままですし、その後も連日のように報道される現地の苦悩は皆さんもよくご存知のとおりです。

そのような折、宮城県気仙沼市立本吉病院への診療応援医師募集の知らせを病院の医局で目にしました。すぐに外来スケジュールなどの調整に目安をつけ、同僚医師の理解も得られて、1週間の短期間ではありますが真っ先に行かせてもらえることになりました。

7月31日朝 那覇空港を発って約10時間後、岩手県のやごし矢越駅という無人駅に降り立ちました。蛙とヒグラシの鳴き声だけが響く、アニメ「トトロ」の中にでも出てきそうな夕暮れの駅で、あの大惨事とは無縁な感じの穏やかで静かなたたず佇まいでした。実は本吉町を走るJR線が壊滅的に破壊されたため、矢越駅が病院から最寄りの駅となり、それでも病院からは約20kmも離れていました。出迎えに来てくれたタクシーで夜道のなか本吉病院へと向かいました。

そのタクシー運転手のHさんとの何気ない世間話で、被災地に着いた実感をひしひしと味わいました。Hさんの90歳代の母親は震災から2日後に まさに本吉病院で息を引き取られたのですが、当時は火葬場も被災のため稼働せず、5日後にようやく火葬できる施設を探し出し、火葬してもらったのだそうです。「その間母は自宅でナマボトケのまま可哀そうでした。葬式は6月にやりました。」「実は今運転しているこの車も津波に流されまして、ボコボコになっていたのを修理して走れるようにして使っているのです」「7月にはいり、このあたりでは葬式が増えました。というのも 行方不明のままお盆を迎えるのも忍びなく、お葬式だけはしてあげようと苦渋の決断をする人が増えたのです。」と、まるで遠い日の出来事を



津波到着時の病院周辺 調剤薬局の職員は全員無事

話すかのように淡々とした話しぶりがかえって心に染み入りました。

私の赴いた本吉病院は、震災前までは常勤医2名、看護師20名、ベッド数38の規模の病院で、2階建ての建物です。海岸からは3~4Kmも離れており、周りを緑に囲まれ、一見山あいの静かな町の中にある 平和な病院だったのです。

さてあの日、午後の診療の最中、突然大きな揺れに襲われました。停電はしたものの、地震そのものの大きな被害はなく、電気も非



流されたままの気仙沼線の橋梁

常用電源ですぐ復旧しました。約30分後の津波のニュースをテレビで見ながらもまさかここまで来ないだろうと思ったそうです。その矢先、「水が来た!!」の大声に驚き、遠くをみると、2mもの壁のようになった水の塊が、白いしぶきをあげながら迫って来るのが見えたそうです。町内を流れる小さな川を伝って水の塊が町中の住宅街を襲ってきたのです。急いで全員2階へ、さらには屋上へと避難し、難を逃れたのです。あっという間に



橋梁の上に流れ着いたままの住宅の残骸

高台を除く町中が海の様になり、住宅も一階の屋根部分がかろうじて見える有様になりました。そして最終的には気仙沼市の死者・行方不明者総数は約1400人(当時の人口は約7万3千人)被災世帯数約9500世帯、そして避難者数は7月下旬でも1500人を超える大惨事となったのです。

病院の状況はというと、1階部分は約2mも水没し、CT装置をはじめ、医療機器類はすべて破壊され、水が引いたあとも数10cmものぐれきや泥に埋まり、トラックの大型タイヤまでが、待合室に流れ込んでいる有様だったとのこと。震災直後は職員の交代要員もままならず、自らの家族の状況も分からないまま、かつすべてのライフラインが絶たれた非常事態での献身的な診療が続けられました。不安と恐怖で殺到する患者さんを目の当たりにして、自ら被災者であることは忘れるようにし、笑顔で励ましながら看護を続けたそうです。そして震災から約10日後、入院患者のすべてを岩手県の県立病院へ受け入れてもらった後、不眠不休で診療を続けられた院長先生を含め常勤医師2人が体調不良などで現場を離れることになり、本吉病院はとうとう常勤医不在の状態となりました。実は震災3日後からは徳洲会病院の医療チームをはじめとする全国の病院から応援医師が駆け付け、応援医師による救急外来は行われていたのですが、その後も常勤医師不在のまま綱渡り状態での外来診療が続けられているのです。

そのようななかでの診療応援に、私も短期間ながら参加することになったわけです。患者さんのなかには、自宅だけでなく、これまで通院していた医療施設までもすべて流され



他の応援医師と本吉病院の明るい看護師さん達



気仙沼市中心部

てしまったと、ため息をつく老人もいました。ある20歳代の男性は頑固な腹痛を訴えて何度も受診されておられるものの、検査所見上も身体所見上も特別な異常所見を認めませんでした。幸い同院でも週に1回だけ、やはり全国から交代で駆け付けてくださる精神科医によるストレス外来が開設されており、受診を勧めたところ素直に応じて下さいました。他にも若い女性や高齢者まで、さまざまな形で精神的な重荷に必死に耐えておられる方が大勢見受けられました。適切な励ましの言葉な



港から数百mも流されたままの大きな漁船に睨まれるような2階建ての建物

どあろうはずもなく、それでも「遠くから来なさって本当にご苦労さんです。身体を診て下さるだけで有難いです。」と頭をさげられるとむしろこちらの身が縮まる思いでした。改めて事態の深刻さと、いつまで続くのか先の読めない心細さを感じずにはいられませんでした。

本吉病院で総指揮を取っておられるS課長さんは、自らのご自宅も流されながらもいつもジョーク交じりに職員の士気を高めて下さっていました。そのS課長が「津波はテンデンコ」という昔からの言葉を教えて下さいました。津波の時は人に頼らず、人に構わず、とにかくすぐに（テンデンバラバラに）自分の力で高台へ逃げろという意味だそうです。今回の津波でもそれが守られずに犠牲者を増加させた悲惨なケースが多々あったようです。実際の局面ではなかなか簡単には割り切れないことも多いのだろうとも思いますが、日ごろから災害時における自己責任に基づく行動様式を認識し、また家族でも話し合っておく必要がありそうです。

この1週間は私の医者としての人生においても貴重な経験となりました。応援のつもりで行った私の方がむしろ生きる勇気を教えて頂いたような気さえします。本吉病院のスタッフの皆さんは本当に笑顔で診療を支えておられます。また本吉の人達の穏やかな話しぶりが、むしろ心にしみる1週間でした。しかしその内に秘められた深く静かな悲しみを十分に感じ取ることはできました。皆さん、どうか被災者の方々のことを心に留め置き、一刻も早く心の平穏が訪れますように祈って差し上げてください。



建物の上に流れ着いたままの自動車



8月の病院周辺

東日本大震災 被災地医療支援活動 報告会

経営企画室 企画グループ 黒崎 浩史

平成23年9月26日(月)、東日本大震災の被災地における医療支援活動の報告会を開催しました。当院においては、震災に対する初めての活動で、関心をもった多くの職員が参加しました。

動画や写真から目の当たりにする地震・津波の被害状況、そして現在の様子。いずれの病院も被災しながら、医療者としての使命を全うしようとする強い気持ちに溢れていました。3名の先生方が共通して感じたこと、それは被災地の方々の笑顔であったと言います。ふと院内に掲示されている言葉を思い出しました。笑顔どう宝(笑顔こそ宝です)

当院では引き続き、被災地における医療支援活動を行ってまいります。

<医療支援活動先>

内科科部長 喜屋武幸男
(宮城県気仙沼市立本吉病院)

小児科科部長 渡久地鈴香
(岩手県立大船渡病院)

小児科医長 神谷素子
(岩手県立大船渡病院)



オープニングセレモニー

総務課 庶務係 照屋 努

平成23年8月8日に「研修センター(仮称)」のオープニングセレモニーが開催されました。当日は、晴天に恵まれ多くの病院職員がセレモニーに参加しました。

ここで、「研修センター(仮称)」の施設の説明をします。この施設は、当院の旧看護師宿舎が平成21年12月末日をもってその役目を終了し、跡地利用から生まれた施設です。1階には、新しい図書室、会議室、防音設備の整った会議室などがあり、図書室には貸し出し用のノートパソコンや個別ブース、スキャン等の論文作成等に必要環境が充実しています。

2階は、「マタニティ教室」や「ベッド周りの研修」、「BLS研修」が行える施設があり、3階・4階同様に各実習生の利用できる施設になっております。

今後は、当院職員がよりよい医療を提供するよう、自己研鑽に寄与する施設として更なる機能を充実させていきたいと思っております。

※BLS …… ベーシック・ライフ・サポートの略。一次救命処置



左から、来間事務局長、久高副院長、與儀院長、照喜名副院長、島袋副院長



新図書室(広さは3倍になりました)



レセプション風景

小禄中学校の生徒さんが職場体験に いらっしやいました



総務課 人事係 宮城 真紀子

那覇市小禄中学校の2年生3名が平成23年9月6日から8日まで3日間、職場体験にいらっしやいました。

産婦人科病棟で看護師の仕事や、病院で行われる数々の検査、薬局、リハビリテーション室、放射線室、産婦人科外来と6つの部署で体験をしてもらいました。みなさん緊張した面持ちでしたが、事前に用意した質問をしたり、熱心に取り組んでいました。生徒さんの中には、将来医療関係の仕事に就きたいと思う生徒さんがいらっしやいましたが、普段は目にしない病院の裏側は、どのように感じたでしょうか。この経験が少しでもお役にたてればと思います。

職場体験を終えた生徒さん達に感想をいただきました。

3日間、貴重な時間にいろいろなことを体験させていただき、ありがとうございました。初めてのことがばかりでしたが、とても楽しかったです。
私は高校を卒業したら、看護の道に進んで行きたいとこの職場を体験して思いました。ありがとうございました。
(U・Y)

この3日間、お忙しい中、貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。全てが貴重な時間で将来看護師になりたいという夢へ、一歩前進できました。
将来大人になって、皆さんと一緒に仕事をすることが私の新たな夢です。この3日間教わった事を忘れずに、夢に向かって頑張ります。
(K・K)

見学をさせていただいた部署のみなさん、お世話になりました。赤ちゃんが苦手な私でしたが、抱っこしたり、おむつ交換することは楽しく感じました。色々迷惑をかけてしまったり、仕事のままにならないかなとも思いましたが、私たちにこういう職場体験をさせてくださり、ありがとうございました。
(Y・M)



医療情報グループ

経営企画室 医療情報グループ 金城 勝悟

事務局の経営企画室に属しており、医療情報システムの運用管理・保守を行っています。医療情報システムといっても、たくさんの種類があり、電子カルテはもちろんのこと、薬剤システムや検査といった以前は紙伝票でやっていたオーダーリングシステム、検査結果データの活用、検査室や放射線室の部門システム、それらのデータを伝送するための院内ネットワークや、情報セキュリティなど、多岐にわたります。

医療情報システムを導入することで、医療者、患者さん双方にとって便利になります。みなさんは、レントゲンの撮影後、フィルムが現像されるまで数十分待っていたという経験はないでしょうか？当院は放射線情報システムを導入し、放射線画像用の高精細ディスプレイを各診察室に配置していますので、レントゲン撮影後、検査画像はすぐにサーバーに送信されますので、患者さんが撮影室から診察室に戻る前に、医師は検査画像を参照することができます。

このように、医療情報システムの導入で便利になる反面、各システムはネットワークで連携していますので、ひとつでもシステムが停止すると診療業務に支障をきたすことになります。システムが安定稼動するように日々の点検作業も欠かすことのできない業務です。

また、病棟・外来合わせて、現在700台近くある医療情報端末（パソコン）の管理を行っています。診療業務に支障がでないよう、簡単な修理や代替機の配置等の迅速な対応を心がけています。

これらの医療情報システムをうまく活用できるように、職員への操作説明・教育や、各システムの不具合に関する問い合わせの対応も業務の一つです。

当院は急病センターがありますので、365日24時間常にシステムが稼動しています。医療情報グループは、病院全体のシステムが円滑、かつ正確に運用できるよう支援しています。それが患者さんへの医療サービスの向上につながると考えています。

～「医療情報技師」という職業を知っていますか？～

医療情報技師とは、「保険医療福祉専門職のひとつとして、医療の特質を踏まえ、最適な情報処理技術にもとづき、医療情報を安全かつ有効に活用・提供することができる知識・技術および資質を有する者」と定義されています。医療の知識と情報処理の技術を両方持ち合わせる事が重要とされていて、日本医療情報学会にて認定される資格免許もあります。現在の病院には欠かすことのできない職業になっていて、医療情報グループにも3人の医療情報技師が勤務しています。



医療支援部 ME室

ME室 比嘉 政実

1. 臨床工学技士とは

厚生労働大臣の免許を受けて、「臨床工学技士」の名称を用いて医師の指示の下に生命維持管理装置（人の呼吸、循環又は代謝の機能の一部を代替し又は補助することが目的とされている装置）の操作や医療機器の保守管理を行う事を業とする。一般にME（Medical Engineering）と呼ばれています。

2. ME室設置目的

院内において、医療機器にかかる選定・評価・保守管理・廃棄までの一貫した業務・管理を行う臨床工学技士を配置し、医療機器を整備することにより、医療機器の適正な使用を推進し、医療安全対策に貢献することを目的とする。

3. 組織と構成人員

組織は平成20年6月より医療支援部に属し、ME室として医療支援部長指示の下に業務を行う。ME室の構成人員は7名です。勤務配置部署は、ME室（医療機器管理室）、人工透析室、放射線室（アンギオ室）。

4. 当院における臨床工学技士の業務内容について

- 1) 医療機器安全管理業務
- 2) 医療機器保守管理（メンテナンス）業務
- 3) 臨床業務
 - ・人工透析技士業務（人工透析室）
 - ・カテーテル業務（放射線アンギオ室）
 - ・ペースメーカー関連業務（外来、各病棟、放射線アンギオ室）
 - ・呼吸器ケアラウンドへの参加（各病棟）



医療安全構築のため、ME室一同協力して頑張っていきたいと思います。



第3回 地域医療連携交流会



地域医療連携室 看護師長 外間尚美

平成23年9月22日(木)に、ホテル日航那覇グランドキャッスルにおいて那覇市立病院 第3回地域医療連携交流会が行われました。

当日は、3連休の直前にもかかわらず、300名を超える方々にご参加いただき、和やかな雰囲気の中、開催されました。

登録医の先生方、訪問看護ステーションスタッフなど、多くの方々にご参加いただき、お互いに顔を合わせながら、当院の連携に対するご意見やアドバイスを頂くことができ、大変有難く思うと同時に、“Face to Face”を大切にしなければと実感しました。有意義な機会になったように思います。

当院は地域医療支援病院として今後もお互いの連携を深め、双方向のコミュニケーションを大切に、より良い地域連携ができるよう、努力していきたいと思えます。

今後ともご指導、ご鞭撻の程宜しくお願ひします。



與儀院長



南部地区歯科医師会
嘉手納一彦専務理事



こころクリニック 又吉嘉伸院長



曙クリニック 玉井修院長



島袋副院長



久高副院長





第3回 地域医療連携交流会スナップ集



平成23年度 第1回 がんフォーラム

石綿による疾病に気づいていない方を探しています

当院は、地域がん診療連携拠点病院の役割・機能として、がんに関する情報及び知識などを、一般市民・医療従事者に提供しています。

今回は、沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会・沖縄県医療ソーシャルワーカー協会と共催で、平成23年8月27日(土)那覇市立病院3階講堂において、一般市民・地域の医療従事者等を対象として「がんフォーラム」を開催しました。

内容は、沖縄労働局の上原昭彦氏が、「石綿(アスベスト)による健康被害の救済に関する法律」について、那覇市立病院の喜屋武幸男内科科部長が、「アスベストによる肺がん及び中皮腫の病態、標準的治療法等に関する一般的な情報」について講演しました。

石綿による疾病で療養や休業を必要とする労働者の方については、労災保険法に基づく療養補償給付や休業補償給付の対象となりますが、労災保険の支給対象に該当しない方でも、救済給付の対象となる場合があります。石綿による疾病で亡くなられた労働者のご遺族の方は、遺族補償給付や特別遺族給付金の支給対象となります。

中皮腫や原発性肺がんについては、石綿が原因となって発症する場合があります、特に中皮腫については石綿との因果関係が強く指摘されています。また、両疾病とも石綿にさらされてから発症するまでの期間が非常に長い(中皮腫で40年前後、原発性肺がん30～40年)という特徴があります。過去に石綿を吸い込んだ可能性はありますか？息切れ、せき、胸が苦しい等の症状が出ていませんか？お心当たりのある方は、ご遠慮なくご相談ください。



講師：上原昭彦氏（沖縄労働局労災監察官）



熱心にメモをとる参加者



講師：喜屋武幸男（那覇市立病院内科科部長）



與儀實津夫院長から講師へ質問

献立紹介



シークワーサーチーズケーキ

材料(18cm型)

- ・クリームチーズ 200g
- ・砂糖 60g
- ・卵 2個
- ・ヨーグルト 100g
- ・生クリーム 100ml
- ・シークワーサー 30ml
- ・小麦粉 30g
- ・ビスケット 100g
- ・バター 50g



シークワーサーには抗酸化作用があるポリフェノールが多く含まれ、クエン酸、ビタミンC、ビタミンB群、カロチン、各種ミネラルも多く、疲労回復、活性酸素の排除、美肌などにも効果的です。



(作り方)

- ① ビスケットを砕き、そこに溶かしバターを加えて混ぜる。
- ② ①を型に入れ、型の底に押しつけるようにしてまんべんなく入れ、冷蔵庫に入れ冷やし固める。
- ③ クリームチーズは室温に戻しておき、そこに砂糖を加え泡立て器でよく練ってなめらかにし、溶いた卵・ヨーグルト・生クリーム・シークワーサー・ふるった小麦粉を加えしっかりと混ぜ合わせる。
- ④ ②の型に③を流し入れ予熱しておいた180度のオーブンで45分焼き、粗熱が取れたら冷蔵庫で冷やす。

ふれあいポスト



ご意見

医療費の支払いをクレジットカードでしたいのですが、対応されていますか？

回答

現在のところ健診センター以外を受診されている利用者には現金によるお支払いをお願いしております。しかしクレジットカードでの支払い要望が利用者から多く寄せられており、未定ではありますが前向きに導入を検討しております。支払いの選択が広がれば利用しやすい病院になると考えますので、導入が決定しましたら、ホームページや受付窓口にてご案内させていただきます。

ご意見

駐車場について、満車で入れない場合のことを考えて、2段(立体)の駐車場は作れませんか？

回答

駐車場の混雑について、ご利用される方にはご迷惑をおかけしております。駐車場の混雑は「曜日」と「時間帯」によって違いがあります。しかし慢性的な混み具合が生じているのは確かです。渋滞解消対策を練っていますが、駐車スペースに限界があること等を考えますと、完全な解消には至っておりません。ご指摘の立体駐車場については、立地条件や環境(中学校が近くにある事)等を考慮して、現段階での設置は難しい状況です。利用される方々が渋滞によって診察予約時間に間に合わないなどを十分考慮し、お時間はかかるかと思いますが、打開策を考えてまいりますので御理解をお願い申し上げます。

ふれあいポストとは
病院に対する意見・要望・苦情の投書箱のことです。当院では院内各所に「ふれあいポスト」を設置し、病院改善や患者サービス向上に努めています。

消防訓練を実施しました。



総務課庶務係 泉忠

平成23年9月15日(木)に消防訓練を執り行いました。

9月1日は防災の日とされており、関東大震災が発生した日であり、台風シーズンを迎える時期に由来しています。

今回の消防訓練は那覇市中央消防署協力のもと「夜間に病棟で火災発生」の設定で、消火活動や患者さんの避難誘導を行いました。また、実際の消火器や消火栓を用いた消火活動を体験しました。



シーツを担架にして、歩行困難者を避難



避難確認:「この部屋、避難完了です。」

半年前に起こった大震災の経験から、災害時における迅速かつ的確な処置はより重要性を増したように感じます。防災意識を高め、災害に備えていきたいと思えます。



天井までの火なら、消火器で消せるんだって



消火栓を用いて、「放水開始ー！」



5m離れて、近づきながら消火開始



中央消防署による講評

身近な「かかりつけ医」を持ちましょう!

「かかりつけ医」を持つことの利点

- いつも同じ医師に診てもらえるので安心です。
- 大病院に比べ待ち時間が少なく、ゆっくりじっくり診てもらえます。



地域医療連携室では「かかりつけ医」を探すお手伝いをしています。



那覇市立病院 地域医療連携室

登録医紹介 当院と連携している登録医を紹介しています。

当院は病診連携を一層推進するために登録医制を設けております。

オープンシステムも備えていますのでぜひご利用下さい。

お問い合わせは地域医療連携室まで! TEL 098-884-5134(直通) FAX:886-5502

名嘉村クリニック 在宅ケアセンター

在宅療養支援診療所

浦添訪問看護ステーション伊祖

訪問リハビリ

居宅介護支援事業所 ケアプランセンターいそ



3人の医師が在宅療養をサポートします。



センター長 大浜 篤

医師 宮城 裕子

医師 吉田 恭子

在宅での緩和ケア、ターミナルケア(看取り)、在宅人工呼吸器等、医療ニーズの高い患者様を24時間・365日地域で支えていくための体制が強化されました。

『利用者の声を大切に。関係機関の皆様との連携を大切に。』をモットーに在宅医療に取り組んでいます。

浦添市伊祖1-32-2
みやぎマンション101

☎ 870-8020



外来担当医師表



地方独立行政法人
那覇市立病院

〒902-8511 沖縄県那覇市古島2丁目31番地1
TEL 098-884-5111(代)

科名	診療	月	火	水	木	金	受付時間・特殊外来等		
内科	午前	総合初診	金城 謙	上間 貴仁	仲地 紀哉	照喜名 重一	内原 潤之介	※総合初診・予約外の患者さんは診療予定人数に達し次第受付を終了します。 【肝臓専門外来】 毎週月・木曜日 8:45~11:00・13:00~16:00担当医：宮里 賢 【循環器専門外来】 毎週水曜日 13:00~16:00 担当医：崎原 永啓 毎週金曜日 8:45~11:00 担当医：旭 朝弘 【神経専門外来】 毎週木曜日 8:45~11:00 担当医：小林 奏 【禁煙外来】 毎週木曜日 13:00~16:00 担当医：照喜名 重一 [予約再来における主な担当分野] 呼吸器：喜屋武・知花・照喜名 消化器：島尻・仲地・豊見山・金城 循環器：崎原・田端・比嘉・旭・眞志取 腎臓・透析・膠原病：宮良・糸数 血液：新垣・内原 糖尿病・内分泌：豊見永・平良 神経：小林 ※火曜日の神経内科は予約の患者さんのみの受付になります。 ■は紹介状持参の患者さんのみの受付になります。 ※同一診察室で午前、午後の担当医が異なる場合は原則として午後1時をその区切りとします。	
			旭 朝弘	照喜名 重一	丹波 和奈	豊見山 良作			
			新垣 大智	喜瀬 高庸	赤瀬 有衣子	馬淵 仁志	川畑 有香		
		再来	一診	知花 なおみ	小林 奏	馬淵 仁志	■神経外来		喜屋武 幸男
			二診	眞志取 多美	糸数 昌悦	崎原 永啓	島尻 博人		崎原 永啓
			三診	崎原 永啓	平良 剛	新垣 均	仲地 紀哉		
	午後	総合初診	肝臓外来(宮里)	内原 潤之介	豊見永 辰美	田端 一彦	照喜名 重一		
			比嘉 南夫	新垣 均	照喜名 重一	眞志取 多美	関仁田 守		
			丹波 和奈	與那嶺 圭輔	照喜名 重一	眞志取 多美	関仁田 守		
		再来	一診	喜屋武 幸男	知花 なおみ	島尻 博人	肝臓外来(宮里)		新垣 均
			二診	豊見山 良作		■循環器外来	糸数 昌悦		崎原 永啓
			三診	平良 剛	宮良 忠	旭 朝弘	金城 謙		仲地 紀哉
小児科	午前	一診	知念 正夫	屋良 朝雄	上原 朋子	渡久地 鈴香	知念 正夫		
		二診	渡久地 鈴香	平山 良道	平山 良道	横原 由二	上原 朋子		
		三診	古波藏 都秋	島袋 美起子	島袋 美起子	徳永 孝史	徳永 孝史		
	午後	一般診療	屋良 朝雄	知念 正夫	紹介状持参の方のみ ■知念・古波藏	屋良 朝雄	屋良 朝雄		
		乳健・予防接種	上原 朋子	横原 由二		古波藏 都秋	横原 由二		
		特診	■【遺伝相談】 成富 研二 ■【心エコー】 伊波 徹 ■【発達・知能検査】 田川 友紀子 ■【神経外来】 平山 良道	■【心エコー】 伊波 徹 ■【発達・知能検査】 田川 友紀子	■【内分泌】 渡久地 鈴香 ■【神経外来】 城間 直秀 大見 剛	■【心エコー】 伊波 徹 ■【内分泌】 平山 良道	■【循環器】 伊波 徹 ■【内分泌】 渡久地 鈴香	【発達・知能検査】 火曜日午後のみ。(予約制) 午後の特診の■印は、予約の患者さんのみの受付になります。 ■印は、予約・紹介状のある患者さんのみの受付となります。 ※ 診療受付時間 午前は11時まで・午後は16時までとなっております。	
	外科	午前	初診:消化器G	宮里 浩	山城 和也	久高 弘志	久高 弘志	金城 泉	
			初診:消化器G	小野 亮子	初診:消化器G	宮里 浩	友利 寛文	宮国 孝男	
			初診:消化器G	大城 健誠	比嘉 宇郎	上原 忠司	小野 亮子	大城 健誠	
		午後	初診:消化器G (初診は消化器Gにて対応)	山城 和也	友利 寛文	山城 和也	山里 将仁	初診:消化器G (初診は消化器Gにて対応)	
			■宮国 孝男	第2・4火曜日 緩和ケア外来					
			漢方外来：友利 寛文 第1・3・5火曜日 14:00~17:00 *緩和ケア外来：友利寛文 第2・4火曜日 14:00~17:00 予約制 ※第4金曜日の山城院医師の診察は4月からございません。 ■印は、予約・紹介状のある患者さんのみの受付となります。						
整形外科	午前	初診	仲宗根 朝洋	大城 互	紹介状持参の方のみ 屋良	玉城 一	紹介状持参の方のみ 外間		
		再来	屋良 哲也	外間 浩	玉城 一	大城 互	仲宗根 朝洋		
		奥間 英一郎	高江洲 美香	岳原 吾一	金城 英雄	奥間 英一郎			
	午後	初診	奥間 英一郎	高江洲 美香	岳原 吾一	金城 英雄	高江洲・金城 (交替)		
		再来	屋良 哲也	外間 浩	玉城 一	大城 互	仲宗根 朝洋 岳原 吾一		
		※初診・予約外の患者さんは診療予定人数に達し次第受付を終了します。 脊椎外来：月(屋良)、金(仲宗根) 手の外科外来：火(外間)、水(岳原)、木(大城) リウマチ外来：水(玉城)、(岳原) スポーツ外科外来：水(午後)・木(午前)(玉城) 水曜日と金曜日の午前の初診は紹介状持参の方のみの受付となります。							
産婦人科	午前	渡嘉敷 みどり(産科) 當間 敬(婦人科)	渡嘉敷 みどり(産科) 平川 誠(婦人科)	渡嘉敷 みどり(産科) 池宮城 梢(婦人科)	池宮城 梢(産科) 當間 敬(婦人科)	池宮城 梢(産科) 當間 敬(婦人科)	【母親学級】第1水曜日 13:30~16:00 【子宮頸がん予防接種】 毎週木曜日 13:30~16:00 (要予約)		
	午後	平川 誠	池宮城 梢	當間 敬	平川 誠	渡嘉敷 みどり			
脳神経外科	午前	島袋 洋	百次 仁	※島袋 洋	島袋 洋	百次 仁	午前 受付時間 11:00まで		
	午後	豊見山 直樹	石川 智司		豊見山 直樹	石川 智司	午後 受付時間 16:00まで (14:00より診療開始となります。) ※水曜日は院外の紹介状のある患者さんのみ受付です。(午前のみの受付となります)		
皮膚科	午前	林 健太郎	新嘉喜 長	新嘉喜 長	林 健太郎	新嘉喜 長			
	午後	外来手術	林 健太郎	新嘉喜 長	林 健太郎	新嘉喜 長			
眼科	午前	今泉 綾子	早坂 香恵	今泉 綾子	早坂 香江	※早坂 香恵 (未熟児診療)	完全予約制です。(緊急患者は随時診察いたします。)		
		早坂 香恵	野口 宏江 (初診)	早坂 香恵 (初診)	野口 宏江 (初診)	野口 宏江 (初診)	眼科外来の初診は月・火・水・金の午前で、紹介状のある患者さんでのみの受付となります。 (木曜日は予約のみ)		
	午後	特殊検査 治療のみ		手術	特殊検査 治療のみ	手術	早坂 香恵 再診予約のみ (特殊検査)		
		野口 宏江 再診予約のみ		野口 宏江 再診予約のみ			午後は、特殊検査・再診のみとなります。 ※未熟児診療		
泌尿器科	午前	宮城 友香	山城 清治	木村 太一	木村 太一	木村 太一	※初診・予約外の患者さんは診療予定人数に達し次第受付を終了します。		
	午後	呉屋 真人	呉屋 真人	山城 清治	宮城 友香	宮城 友香	(月~金曜日) 日帰り ・結石破碎手術 ・前立腺針生検行っています。 *印は結石破碎手術のみ		
耳鼻咽喉科	午前	神谷 義雅	近藤 俊輔	神谷 義雅	轟数 光雄	轟数 光雄	※初診・予約外の患者さんは診療予定人数に達し次第受付を終了します。 ■印は、予約患者さんのみの受付となります。		
	午後	*新濱 明彦	■轟数 光雄	■近藤 俊輔	■神谷 義雅	■轟数 光雄	*月曜日午後(第2・4火曜日:新濱 明彦) ※第1・第3・第5曜日の午後は休診となります。		
精神科	午前	小林 敬	屋宜 盛秀	富盛 宏	屋宜 盛秀	嘉手納 志乃	完全予約制です。 現在、新患の受付はしておりません。ただし、緊急患者は診療します。		
	午後								
放射線科	午前	足立 源樹	足立 源樹	足立 源樹		足立 源樹	完全予約制です。(新患のみ)		
	午後						午前中のみ診療いたします。		
歯科口腔外科	一診	仲宗根 康雄	仲宗根 康雄	仲宗根 康雄	手術	仲宗根 康雄	歯科外来の初診(午前のみ)は、紹介状のある患者さんのみ午前中の受付いたします。 午後の診療は予約患者のみの受付となります。(緊急患者は随時)		
	二診	津波古 判	津波古 判	津波古 判	立津 政晴	津波古 判			
リハビリ テーション科	午前						外来診療：金曜日 13:00~17:00 (第4金曜日は休診)		
	午後					外間 浩	運動療法：月~金曜日 8:45~17:00		
救急	1st call	濱田 賢治	寺田 泰蔵	濱田 賢治	多鹿 昌幸	寺田 泰蔵	8:30~17:00		

*土・日曜日、祝日、慰霊の日、年末年始は急病センターにて終日診療
*手話通訳を希望される方は予約が必要となります。事前に医療福祉相談室にご連絡ください。医療福祉相談室(内線127)